

令和 8 年度

総合型選抜 I 期 問題 課題作文

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

試験時の注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 受験票に記載された学科と解答する学科に相違がないか、確認すること。
また、健康栄養学科・看護学科・理学療法学科の受験者は、受験票に記載された科目と問題冊子に相違がないか確認すること。異なる場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ③ 開始の合図の後、解答用紙に「氏名」、「受験番号」を記入すること。受験番号は算用数字で記入すること。
- ④ 試験時間は、60 分です。
- ⑤ 解答用紙は横書きで記入すること。
- ⑥ 句読点は 1 字として数えること。
- ⑦ 下書きは、問題用紙の余白・裏面を使用すること。
- ⑧ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑨ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

【設問 I】

次の記事を読んだ上で、あなたが万博パビリオンの担当者として、中高生向けに「衣・食・住と環境問題」に関連する企画展示を作るとしたら、どのような内容にしますか。①企画のタイトルと展示の内容②この内容にする理由となる社会的背景③ICT（情報通信技術）を活用した展示方法の具体例と工夫について説明して下さい。

「海洋プラスチック」に関係するものである必要はありません。「衣・食・住」の中から最低1つ以上関連させて、①～③合わせて400字以内で記述して下さい。

海洋プラスチックごみの削減を…万博パビリオンの展示テーマに多数、緊急性伝え「行動を変えて」（読売新聞オンライン 2025年6月5日抜粋）

大阪・関西万博で、海洋プラスチックごみの削減を展示のテーマに取り上げるパビリオンが目立つ。会場の営業施設では、レジ袋の配布が原則禁止されるなど、プラごみ削減を促す取り組みも多い。大阪は、2019年に開かれた主要20か国・地域（G20）首脳会議でプラごみの削減目標が打ち出された地でもあり、万博を機に、海洋保全の発信力を高めることが期待される。（中略）

日本では、国が19年に策定した「プラスチック資源循環戦略」で、▽30年までに使い捨てプラスチックを25%排出削減▽35年までに使用済みプラスチックを再利用かリサイクルなどで100%有効利用——といった目標を掲げる。飲食店ではストローやスプーンを廃止する動きも広がっている。

大阪・関西万博での海洋保全に関する展示や取り組みの例

ブルーオーシャン・ドーム	「海の蘇生」がテーマのパビリオン。半球形スクリーンで海洋プラスチックごみによる汚染の現状を伝える
ポルトガル館	「海、青の対話」がテーマ。日本とポルトガル交流の歴史や海洋プラスチックごみ削減など海洋保全の必要性を訴える映像を展示
日本館	水中で分解される生分解性のプラスチック原料で作った器の展示
オフィシャルストア	買い物かごに、工具箱メーカー「リングスター」が製造する海洋プラスチックごみを再利用した製品を利用
会場内の物販棟	大成建設が建設した建物では、海洋プラスチックごみを外装材に活用

【設問 II】

多文化共生「国籍や民族、文化の異なる人々が、互いの違いを認め合い、尊重しあいながら、地域社会の構成員として生きていくこと」（総務省：多文化共生の推進に関する研究会報告書より）の社会を実現していくためには、どんなことが必要ですか。具体的に400字以内で記述して下さい。